

宮島地域コミュニティだより



平成 24(2012)年 7 月 発行

編集・発行／宮島地域コミュニティ推進協議会

TEL : 44-2000 FAX : 44-2196

ホームページ <http://ww7.enjoy.ne.jp/~miyajimacc/komyunithy.html>ブログ <http://miyajima1.exblog.jp/>

朝のあいさつ運動 ～金環日食でほとんど登校してました～

平成24年5月21日(月)、毎月第3月曜日は『朝のあいさつ運動』です。

安心・安全部会の皆さん、廿日市警察署宮島駐在所、地域の皆さんなど多くの方が、「宮島棧橋前交差点」や「宮島学園小・中学校正門前」などの通学路で、子供たちに声掛けをする「朝のあいさつ運動」に参加しました。

ただ、今日は不思議と「すでに多くの子供は学校に登校していて、通学してくる子どもたちが少ない」現象が・・・地域の皆さんが大きな声で「おはようございます」と言っても、どことなく閑散。

・・・そう言えば、「今日は・・・金環日食が観測できる日」だった。

学校グラウンドでは朝早くから、多くの子供たちが「観測専用グラス」を手に、視線は太陽に。数十年に1回の金環日食、そんなときの「朝のあいさつ運動」も数十年に1回。

いつか、「ふっ」と思い出すことがあるかも知れない。

金環日食のときに、確かあいさつ運動もあったな、と。



交通事故に気をつけよう！！宮島幼稚園・宮島学園小・中学校交通安全教室



平成24年5月24日(木)10:45～、宮島学園小・中学校グラウンドにおいて『交通安全教室』を開催しました。

廿日市交通安全協会や廿日市警察署宮島駐在所から交通指導をしてくれる方々を迎え、宮島幼稚園、宮島学園小・中学校の子どもたちが、交通マナーを学びました。

「信号機のない横断歩道の渡り方」、「信号機のある横断歩道の渡り方」、「車がそばにあるときの注意の仕方」、「自転車の乗り

方、渡り方」などを丁寧に教えてもらいながら、体験学習をしました。

渡る前に左右を確認したり、元気よく手をあげて横断歩道を渡ったり。

宮島には、信号機がないので貴重な体験です。最近、全国各地で悲しい交通事故が発生しています。

宮島の子どもたちが、こうした体験学習を通じて、事故にあわないように気をつけてほしいと思いますし、周りにいる大人たちも自分自身を振り返って、事故にあわさないように心掛けたいものです。

今日も元気い～♪にイモ植え！！～わくわくランド～



平成24年6月5日(火)9:30～、宮島幼稚園において『わくわくランド』が開催されました。この日は、「イモ植え」や「紙ヒコーキづくり」に挑戦です。

その前に、ゲストティーチャーとして、地域の方たち4名が招かれましたが、園児たちから4名の皆さんに、日々練習してきた『歌や踊り』を披露しました。雰囲気や和んだところで、外へ出て、イモ植えの説明を真剣に聞き、実際に体験です。園児は列になって、

それぞれの苗を片手に、丁寧に植えていきます。ゲストティーチャーによると「深くまで掘って植える」のがコツらしいのですが、園児にとっては結構難しかったようで、あとでティーチャーが植え直していました。

作業が終わると園児みんなで『大きくな～れ！！』と大きな声でおまじない。

きっと、秋には大きくて甘いイモが収穫できると期待しましょう。いろんなことを体験して、健やかな「みやじまっ子」になって欲しいと地域の方たちも願っています。

防災は『日々の備え』から ～廿日市市消防団宮島分団～

平成24年6月5日(火)16:00～、杉之浦にて、廿日市市消防団宮島分団、宮島消防署、宮島支所による「合同防災訓練」を実施しました。

平成24年度総会が開催されたとき、井上前会長が挨拶でおっしゃったように『自主防災の重要性を認識して、自分たちの身を自分たちで守る』ということでした。

日々の防災への備えは、訓練からも習得できるとして、消防団員も『土のうづくり』『土のう積み工法』『シート張り』をしっかりとベテランの方から教わりながら実践として取り組みました。

訓練で作った土のうは、水質管理センターに運搬して、保管しています。取り組みを通じて、ノウハウを学び、いざというときに災害から身を守る。

こうした頼りになる消防団員が、皆さんのすぐそばにいるのです。



編集後記

朝のあいさつ運動を始めて、2年余りが過ぎ、最近では子どもたちの顔と名前が少しは解るようになってきました。安心・安全を守るため、これからも続けていきたいと思っています。

交通安全教室も、幼・小・中が合同で行うようになり、はや4回目となりました。全国で子どもたちを巻き込む事故が多発しています。宮島でも細い道に観光目的の人・自動車・自転車などが増え、時には交通事故が発生することもあります。事故は相互の理解と注意が必要です。

消防団活動においては、新入団員も増え、宮島地域の安心・安全を守るため活動をしています。自主防災会の設立も今年度中には実現しそうです。宮島の地域が安心して生活ができるよう皆様方のご協力をお願いします。

宮島地域コミュニティ推進協議会 安心・安全部会長 山松和男